

第85回 理事会（平成16年度第5回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成16年11月1日（月）19：00～21：00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 4階第4研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）三塚 康雄、上田 英之、渡辺 三郎、菊地 富士夫、越前谷芳隆
（理事）柴田 秀一、本田 衛義、徳本 進、岡本 洋一、川田 光代、
佐々木 生道、木村 徳善、百海 廷、栗田 謙悟、平沢 幸一、
斎藤 幸雄、吉岡 去私
欠席理事：（会 長）河野 洋平、
（理 事）長久保 巖、清水 忠、菊地 勇二、
4. 出席監事： 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 徳本 進理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書 記： 守屋 匡裕広報委員を指名
8. 議 事

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

菊地本部長より、別紙の通り下記行事についての報告がなされ、了承された。

イ) 競技本部の指導者セミナー（10月17日開催予定）の中止について

- ・参加者が少なく、キャンセルとした。講師の古川年正氏は11月14日（日）の競技運営管理セミナーに日程調整できたので再度来ていただくことになった。

ロ) 第56回県総体の準備状況について（報告：栗田理事）

- ・10月21日に県スポーツ課が各市の担当者を召集して、第56回県総体の打合せを実施し、前回の理事会で承認された実施要項が周知徹底されたのでホームページに掲載をお願いする。今回も県選手団役員と現地協力団体との交流会を開催することになったとの報告があった。

ハ) FIS公認スノーボードクロスについて

- ・上記の大会について、10月25日までに実施可否を決定することになっていたが、SAJ技術委員会も現在スポンサーを集めるので、少し時間を下さいとのこと。SAJも100万円のスポンサーが付かないと、SAKはキャンセルすることを承知している。キャンセル可能な時期まで努力することになっているとの報告があった。

片専務理事より、SAJ担当者と話をしたが、スポンサー探して引っ張り過ぎると選手にも迷惑が掛かるので、差し支えない範囲で対応することの要望があった。

(2) 審議事項

ジュニア指定選手の切替え時期について

菊地本部長より、ジュニア指定選手の切替え時期を7月に決めたが、選手層のレベルが上がっているため、シーズン途中の3月1日から指定選手切替えを行ない後期を乗り切りたい。これはシーズン中頑張れば指定選手に入れるとの競争意識を持たせたいとの強化委員会の要望もあり、1年ではなく半年で指定選手切替えを行ないたいとの提案がなされ、承認された。

ジュニア長期育成指定選手の追加認定について

菊地本部長より、別紙のとおり厚木市スキー協会からの推薦であり、承認願いたいとの提案がなされ、承認された。

2) 教育本部関係

(1) 報告事項

渡辺本部長より、別紙の通り下記行事に関しての報告がなされ、了承された。

- イ) SAK/SAC 技術選の打合せ(第2回) 10月28日(木)
 - ・出席:SAC3名、SAK 渡辺本部長、菊地理事
- ロ) 第2回教育本部正副委員長会議の開催 10月21日(木)
- ハ) SAJ安全対策委員長会議 11月6日(土)
 - ・和田委員長が出席予定。片専務理事より、会議報告を文章で提出の指示あり。
- ニ) 教育本部部会開催 10月23日(土)
 - ・五竜行事 でスノーシューを取り入れて実施することが決定した。

(2) 審議事項

スキー生涯スポーツリーダー講習会について

渡辺本部長より、五竜 行事Aコースの開催日程を2.5泊から1.5泊に短縮して開催するとの連絡が浜島SAJ専門委員からあり、開催要項・申込み書をHPに載せ、徹底することでの提案がなされ、承認された。

北海道行事のSコース養成講習会の申込み金変更について

渡辺本部長より、北海道行事のSコース養成講習会の申込み金を8000円にしたい。理由は養成講習会の実技講習を1回でクリア出来るため、2行事分の10000円の所、割り引きして8000円を申込み金として設定したいとの提案がなされ、承認された。

片専務理事より、養成講習会1及び2でSコース養成講習会への参加PRの要望があった。

強化合宿の追加行事の提案について

渡辺本部長より、年内を目処に技術選強化選手を中心に合宿を実施したい。予算外の行事となるが、10万円の支出が発生する。規模は役員2名で、参加費を徴集し参加者は20人程度で、実施期日は12月4週を予定しているとの提案がなされ、片専務理事より行事開催は良いが合宿費用については厳しい状況であるので、SAJ技術選の事前合宿費から前出しとするが、不足分は補填することで、承認された。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係について

越前谷事務局長より、川崎スキー協会の藤田勝利氏(前競技本部理事)が死去され県連より生花・弔電を出したことの報告があり、了承された。

資金運用状況について

岡本理事より、別紙のとおり新しい会計ソフトによる資料を配布したが、先月預金残高が危ないと説明したが、10月の登録にまぎれてしまった。9月末の預金残高は163万円まで減ったが、10月に入り登録費が1000万近く入りまして、2906万0598円となった。定期預金の1550万円を除くと1356万9588円となり、これから横浜・川崎が登録してほぼ横バイと思われる。仮払いは立替金として乗せてあるが、未収であげていた国体の健康診断のお金が選手から上がってきて立替金に入るがこれは雑収入として計上する。

アルペン合宿の県体協からの入金があり増えているので特別会計に移したい。今月25日に会計チェックがあるので、昨年との増減がわかるとの報告がなされ、了承された。

ハンディキャップ委員会報告

越前谷事務局長より、H/C委員会は隣の部屋で開催中で、議題は1月五竜行事の打合せを行っている。皆さまにもお願いしました賛助会費は、11月1日現在、13万円集まりましたとの報告がなされ、了承された。

広報委員会報告

徳本理事より、別紙のとおり下記事項に関しての報告がなされ、了承された。

- イ) 広報委員による雪上行事の取材担当が決まりました。各本部の担当理事には広報委員を含めての対応することの要望があった。
- ロ) ホームページ用のソフト開発について、広報委員自らがホームページに掲載出来るように、ソフト開発を広報委員の高木さんに金額は10万円以下で依頼しています。この件は予算計上してないので、再度、ソフト完成次第提案することで、片専務理事より、予算を含めて総務本部長と相談し、次回の理事会に報告することの指示があった。
- ハ) SAK行事参加案内ポスターの作製について、競技本部長より一般の方々にも競技に参加し

ていただきたいとのことで、広報委員会でデザイン・作製しました。サイズはA4版で、これらをスキショップや公共の案内掲示板、チラシ置き場等に配布し参加者を増やしたい。また各本部の行事でも配布をお願いし一般の参加を呼びかけるツールとしたいとの報告があった。

北海道企画委員会報告

百海理事より、行事PRビデオが完成し、11月7日の養成講習会と11月13日の指導員研修会でPRする。またホームページにも公開する。現在の集客状況は71名で、10月31日現在、昨年比30名減で出だしが遅いので皆さまの協力をお願いします。今回は千葉県を含めて、400名超を目指して頑張りたい。イベントでは、現地の二瓶デモに講習会をお願いしており、日程調整中である。参加行事の組合せ可否を一覧表で明確にしたので、ホームページに公開するとの報告がなされ、了承された。

E 決済委員会報告

徳本理事より、E決済について、決済会社のデジタルチェック社へ申込書送付済みで、手続き処理中であること、デジサーフ社の申込みサイトは作成完で、11月5日までは入力データの確認中で、理事の方々もデータ入力を試行して下さいとのお願いがなされ、了承された。

上田本部長より、競技本部計算委員とのデータ授受の詳細を詰めていきたいとの要望があった。

協賛企業拡大状況報告

長久保理事より、2社より協賛を頂いた。一つはソニーテクノクリエイト(株)が一般協賛で10万円、支払いは2回とする。もう1社は富士見パノラマスキー場で今年度3万円で、次年度5万円で交渉中である旨の報告がなされ、了承された。

山田副会長より、本日富士見パノラマに電話して確認した所、今回よりリンク料を含めて10万円払うことになった。将来に亘り行事の開催を考慮していただければとのことであり、教育本部の強化合宿のスキー場としてまた、競技本部では3kmを使った大会が開催できないかの相談を受けたので、検討をお願いしたいとの要望があった。

登録状況について

上田本部長より、会員登録が全て終了してからの報告としますが、途中経過では一般2146名、高校生161名でそれぞれ増減があるが、昨年比では横バイである。

現地総務行事担当について

上田本部長より、行事担当の再確認が行なわれ、了承された。

電話回線工事終了について

岡本理事より、事務所の電話回線を4回線から2回線にする工事が終了した。これは外から掛けるTELとFAXは変わらないので支障はありませんとの報告がなされ、了承された。

リンク依頼について

上田本部長より、リンク依頼としてスポーツ情報センターと県立体育センターからあった。スポーツ情報センターはリンクを張らしてほしいとのことで了承した。県立体育センターは一般の人が参加できる行事を掲載したいとのことで、教育の一般参加行事と競技のオープン行事、ノルの歩くスキーの要項をFAXするように事務局へ依頼したとの報告がなされ、了承された。

(2) 審議事項

専門委員の追加承認について

越前谷事務局長より、広報委員に座間スキー協会の北川松男さんの推薦があり、追加承認したい旨の提案があり、承認された。

大会保険の運用について

川田理事より、大会保険の賠償責任見積り書が出来ましたので確認していただきたい。対象となる大会は、教育本部2大会(技選と環富士)と競技本部はチャレンジカップ3大会・上越4連戦・県選手権である。参加人数により違うが、14000~43000円の合計217780円の見積りが出来た。保障は対人1億・1事故1億であり、これで契約したいと考えているとの提案がなされ、承認された。

指導員会後援事業について

越前谷事務局長より、指導員会から11行事の後援依頼があり、既に4行事は終了しているが承認願いの提案がなされ、承認された。

戸隠チャンピオンズカップの後援依頼について

上田本部長より、戸隠スキー場から第3回戸隠学生チャンピオンズカップ基礎スキー大会及び第3回戸隠チャンピオンズカップ基礎スキー大会(OP参加)の開催に係わる後援依頼の提案が

がなされ、承認された。

研修会費用の免除について

上田本部長より、前回の理事会でも論議したが、産休・海外出張等やむを得ず長期休みとなり有資格者がスキー活動を出来なくなることにに対し、SAKとしてSAJの登録料は免除出来ないが研修会費用は免除する。この件については質問あれば回答する程度に考えており対応していく。9月の要項説明会でも質問あり、周知不徹底になることは困るので協会へは周知する。締切日を決めて、1年毎に申請することにしたい。SAJ確認では3年目になると登録は継続であるが、資格は停止ではなく喪失になるので、その旨の書類をSAJに提出することで喪失を保留する話を伺っている。毎年処理できればSAKとしても保持できると考えているとの提案がなされ、承認された。

定期預金の運用について

上田本部長より、現在はペイオフ対応で1000万円までは保護されるので、経営状況の良い10行に預金しているが、利息が0.02~0.025%であり、ネット銀行とか法人を受付ける所があれば、0.3~0.5%の利息を出しているの、承認いただければ利息の良い銀行に移し替えを行なう検討をすることの提案がなされ、承認された。

新潟中越地震の救援について

上田総務本部長より、新潟地震に対し義捐金を予算から捻出するのか募金活動をするのか審議をお願いしますとの提案がなされ、養成講習会や研修会理論で募金活動をすることで承認された。山田副会長より新潟スキー連盟の建物が全壊したとのこと、菊地本部長からは上越国際スキー場はリフトはダメだが、シーズンまでには間に合う、宿舎も大丈夫であるとの報告があった。

4) その他

県体協加盟団体理事長会議報告について

野地副会長より、県体協加盟団体理事長会議に出席しましたので、2点報告します。1点目は、12月24日に神奈川県スポーツ人の集いが行なわれるが、交流を図りたい。会費は8000円で、連盟2名程度の出席要請があった。2点目は補助金の適正執行について、7月下旬に県補助金の使途に疑義ありと新聞報道され、各団体には8月理事長会議で適正執行の要請があった。特に補助金の扱いが厳しくなるので、SAKとしても内部で細則を作成しておくことが望ましい。片専務理事より、SAKは国体が対象なので気をつけるとの要望があった。

車山の信州総合開発観光(株)の社長交代について

片専務理事より、車山高原スキー場の宮下取締役の退任について、濱崎社長よりTELあり、日コンの親会社から売上げが減っており、リストラをしないとの通達があって、早期退職6名役員2名が辞めた。その中に宮下氏が入っていた。濱崎社長より12月からは雪造りをするし、協賛金も払うので、これからもお付き合いをお願いしますとの話を直に聞いたので宜しくとのこと。さらに本日、濱崎社長が退任され、飯島氏が社長となり新体制になったが、付き合いは今までの同じようにしていただきたいとのTELがあった。

山田副会長からコメント

教育本部の星取り表について、全行事に理事が参加している。ジャッジマンについても全員技術選にも入っており、専門委員よりクレームあるので考慮することの要望があった。

片専務理事からコメント

総務担当理事が現地総務で入りますが、担当理事と打合せして、スムーズな会計処理をしてください。事業の報告は担当理事が行なうことの要望があった。

井駒監事からコメント

雪上行事が始まるが、執行者が事務の効率化を図ってください。その場で報告書を書いて提出して理事会で配布してファイルすることで、最後に書いたりしなくて済むので、自分で合理化してやってくださいとの要望があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成16年 11月 10日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印